

長門商工会議所中小企業景況調査結果

(令和3年4～6月期状況、令和3年7～9月期見通し)

令和3年10月調査分

平成31年3月に認定を受けた「小規模事業者経営発達支援計画」に基づき、小規模事業者の持続的発展のため経営実態やニーズ把握を重視し、個別事業所の経営状況分析の基礎データとして活用することを目的に地区内の事業者275社を対象に景況調査を実施しました。

I. 調査概要

- 1 調査方法 郵送、聞き取り
- 2 調査対象先 長門商工会議所管内の中小企業275社
- 3 有効回答企業の内訳 70社 回答率25%

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	計
回答数	10	6	5	13	36	70
対象事業所	28	26	16	56	149	275
回収率	36%	23%	31%	23%	24%	25%

II. 調査結果

総括 ～仕入単価DIが全体的に上昇傾向～

他のDI値は全体的に悪化する中、仕入単価のみが上昇している。

建設業	当期のDI値は悪化した。来期見通しは少し好転した。 前回の回答で2割の事業所が選択した経営上の問題点「大企業の進出による競争の激化」が今回は大幅減の0社となった。
製造業	当期は全体的に改善したが、来期見通しは悪化した。また、仕入単価DIは大幅に上昇した。 経営上の問題点「需要の停滞」が3期連続1位となった。
卸売業	仕入単価DI以外の全DIが当期・来期見通し共に悪化した。仕入単価DIも横ばい・減少となった。 経営上の問題点「従業員の確保難」が上昇した。
小売業	今期の設備投資が0社、来期予定も1社となり、過去1番の低水準となった。 経営上の問題点「消費者ニーズの変化への対応」の順位が少しずつつがっている(前々回1位、前回2位)
サービス業	過去最低だった前回DIよりは全体的に改善が見られたが、従業員DIなどさらに悪化した数値もあり、楽観視できない状況が続く。 経営上の問題点「材料等仕入単価の上昇」が初の上位入り、前回から大幅な上昇となった。

				
特に好調 (50以上)	好調 (25以上50未満)	まあまあ (0以上25未満)	不調 (△25以上0未満)	きわめて不調 (△25未満)

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	当期	来期見通し	当期	来期見通し	当期	来期見通し	当期	来期見通し	当期	来期見通し
売上										
DI値	△ 35	10	△ 8	△ 50	△ 50	△ 60	△ 12	△ 50	△ 35	△ 38
仕入単価										
DI値	65	65	50	58	40	30	15	12	13	14
採算 (営業利益)										
DI値	△ 40	△ 55	△ 17	△ 33	△ 40	△ 70	△ 31	△ 38	△ 51	△ 50
従業員										
DI値	△ 20	5	△ 8	△ 8	△ 10	△ 10	△ 4	△ 4	△ 22	△ 25
業況										
DI値	△ 40	△ 70	△ 8	△ 33	△ 60	△ 60	△ 19	△ 35	△ 46	△ 49

※DI (DIFFUSION INDEX 景気動向指数): 各調査項目において「増加(好転)」と回答した企業割合から「減少(悪化)」と回答した企業割合を差し引いた値

新規設備投資

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	10%	17%	20%	0%	14%
計画している	0%	17%	0%	8%	8%

経営上の問題点(複数回答あり)

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	官公需要の停滞 (前回1位)	需要の停滞 (前回1位)	需要の停滞 (前回1位)	需要の停滞 (前回1位)	需要の停滞(前回1位)
2位	材料価格の上昇 (前回2位)	原材料価格の上昇 (前回3位)	仕入単価の上昇(前回3位)	店舗が狭い・老朽化 (前回3位)	利用者ニーズの変化 への対応(前回2位)
3位	熟練技術者の確保難 (前回4位)	新規参入業者の増加 (前回回答なし) 従業員の確保難(前回4位)	従業員の確保難(前回7位) その他(前回3位)	消費者ニーズの変化 への対応(前回2位)	材料等仕入単価の上昇 (前回10位)